

(公社) 日本地すべり学会関東支部 平成 27 年度第 1 回現地検討会開催報告

1. 実施概要

- (1) 開催日：平成 27 年 4 月 25 日（土）
- (2) 開催場所：東京都大島町
- (3) テーマ：平成 25 年台風 26 号により発生した伊豆大島大金沢の大規模崩壊
- (4) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (5) 協力：東京都大島支庁・大島町
- (6) 講師：後藤聡（山梨大学）、安孫子昌弘・金澤大介（東京都大島支庁）
- (7) 参加人数：17 名（学会正会員 10 名，学生会員 5 名，非会員 2 名）

2. 現地検討会の内容

伊豆大島では、平成 25（2013）年台風 26 号の豪雨に伴って、降水量の多かった同島西部の斜面を中心に多くの表層崩壊が発生した。特に大金沢上流部に発生した大規模崩壊によって、元町地区を中心として死者・行方不明者 39 名，建物被害 400 件等の甚大な被害が生じた。一方で、被災直後には既往の堆積工の機能を增强するための応急対策が実施され、現在は崩壊の発生域となった斜面の対策工や導流堤の整備等が進められている。また、元町地区においては今回の土砂災害を考慮した土地利用や道路ネットワーク等の地域基盤の整備方針が検討されている。本検討会では、東京都大島支庁の安孫子昌弘氏、金澤大介氏のご案内により、これらの対策工事や復興状況を視察した（写真-1）。また、山梨大学の後藤聡先生により、崩壊発生のメカニズム等について説明がなされた（写真-2）。これらの現状を踏まえて、大規模崩壊発生時の状況や今後の教訓等が議論された（写真-3）。

3. おわりに

本検討会では、学生からベテランの技術者に至るまで多くの皆様にご参加頂いた。関東支部では、今後も防災教育や学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定である。なお、10 月には平成 27 年度第 2 回現地検討会を山梨県の楠田（くすんた）地すべりにおいて実施する予定である。

本現地検討会の開催にあたり、御協力頂いた東京都大島支庁と大島町の関係者各位には大変お世話になりました。ここに記して、厚く御礼申し上げます。

参考文献

土木学会・地盤工学会・日本応用地質学会・日本地すべり学会
平成 25 年 10 月台風 26 号による伊豆大島豪雨災害緊急調査団（2014）：平成 25 年 10 月台風 26 号による伊豆大島豪雨災害調査報告書，90p.

<http://committees.jsce.or.jp/report/system/files/20140526.pdf>
伊豆大島土砂災害対策検討委員会（2014）：伊豆大島土砂災害

対策検討委員会報告書，57p.

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/kasen/ooshima/final/houkou.pdf>

大島町（2014）：大島町復興計画，45p.

<http://www.town.oshima.tokyo.jp/fukkou/fukkoukeikaku/fukkoukeikaku.pdf>

櫻井正明（2014）：2013 年台風 26 号による伊豆大島の斜面災害（速報），日本地すべり学会誌，Vol.51，No.1，pp.25-28.



写真-1 対策工についての説明状況



写真-2 崩壊発生のメカニズムについての説明状況



写真-3 崩壊発生箇所の視察状況

（関東支部幹事会 林 一成・木村勝美）